

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスむぎのこ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 2月 15日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実：発達に合わせた活動内容、季節に合わせた活動等を充実させて行っています。(水遊び・海水浴・公園散策・そり滑り・クリスマス会・お正月会等)	季節の活動・行事を多く取り入れています。また、子どもが落ち着いて過ごせるようウォッチミープレイという個別の関わりを取り入れています。	行事や、季節に合わせた活動は前もって役割などを計画して実施しているので、引き続き計画的に実施出来るようにしていきます。 また、保護者の方がより様々な活動を行っていると実感出来るよう、こまめに様子の連絡をしたり、活動報告をブログやおたよりなどで発信できるようにしていきます。
2	研修機会の充実：階層別研修、部門別研修など様々な研修の機会を多く持ち、子どもたちと適切に関われる職員の育成機会を充実させています。 また、打ち合わせや振り返りなど職員同士で話す機会を多く持ち、情報の共有をこまめにできるようにしています。	事業所全体・個別での職員のスーパービジョンを行い、支援をする中での良かったこと・困ったことを話す機会を設けています。 職員が子どもと落ち着いて関われるよう、具体的な場面を想定してアンガーマネジメントや肯定的に関わる練習を朝の職員の打ち合わせ時に行っています。	スーパービジョンの実施を継続し、職員が子どもたちと関わる際に感じたことを職員同士で話しながらチームで支援をしていけるようにします。
3	家族支援：家族支援が必要な家庭に関係機関と連携したり、面談を定期的に行い、必要な支援に繋がれるようにしています。	月に一回面談を行えるよう、面談予定を周知し、都合が悪い際には保護者が来園できる日に再調整をして保護者と話す機会を設定しています。	引き続き、面談を定期的に行い、家庭と事業所での様子を共有して安心して通所できるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	併行通園先の幼稚園、保育園との連携	保護者の希望や、併行通園先からの希望があったときに電話で情報の共有をしましたが、こちらから働きかけることがなかなかできませんでした。	通っているお子さんの併行通園先に積極的に連絡を取り、様子や関わり方の共有をしたり、併行通園先に訪問して実際に様子を見に行くなどをしていきたいです。
2			
3			